

# 令和元年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

## 市民プール建設に向けてのPFI事業の導入可能性調査 (調査対象箇所：田原市内)

【調査主体】田原市

### 調査対象事業の概要／施設の概要

#### 【事業の概要】

市民プールを新たに建設し、市民利用、小中学校の授業利用を前提に、その施設及び施設の利用運営についてPFI方式により民間に委託する可能性について調査するものです。

市内に、中学校5校、小学校18校があり、それぞれの学校にプールが設置してあり、一番古いもので昭和37年建設56年が経過している。今後、プール授業を継続実施していくにあたり、プール及びプール授業の集約化(複数学校の共同授業等)を図る、例えばインストラクターによる授業の実施を民間委託していきたいと考えているものです。また、市民の健康づくりの場としての温水プールのPFI方式による民間委託の調査を実施し、プール建設、PFI方式による民間活用について調査するものです。

#### 【施設の概要】

施設の規模については、調査の結果を基に、プールの規模、付属施設、設備等を決定する。

### 検討経緯等

#### 【検討経緯】…検討項目の洗い出し

学校プールのあり方について

- ・小中学校に設置したプールの老朽化(23校中11校が設置40年以上経過)
- ・児童減少に伴う学校の小規模化
- ・水泳授業における複数校合同授業の可能性
- ・プールに関する教員の負担(プール清掃、指導、ろ過、水質管理等)
- ・学校プールの再編方針の検討(温水プール、合同授業、補助指導員)
- ・交通手段としてのスクールバスの運用

#### 【調査経緯】…調査及び調査項目の洗い出し

学校のプール建築年度、経過年数

プール、スクールバスに係る経費の比較

### 事業化に向けて解決すべき課題及び検討すべき内容

#### 1. 温水プール活用型小中学校水泳授業実施に関する検討

- (1) 温水プール活用型水泳授業実施に係る基本的要件等の整理
- (2) 小規模校において多人数による活動を実施する(複数校による水泳の合同授業)
- (3) 教員の水泳授業に伴う負担を軽減する(温水プール、合同授業、補助指導員)
- (4) 温水プール施設運営のための各種条件の整理検討
- (5) 類似事例調査
- (6) 市内温水プール運営事業者ヒアリング
- (7) 小中学校水泳授業実施計画案の策定

#### 2. 市民プールの利用に関する検討

- (1) 市民プールの市民利用に係る検討
- (2) 市民プールの必要性に係る整理・考察
- (3) 市民プール設置に係る基本的条件の整理

#### 3. 市民プール整備運営に係る民活手法導入可能性に係る検討

- (1) 前提条件の整理  
ア. 事業用地に係る検討 イ. 市民プール整備の検討 ウ. 市民プール運営の検討
- (2) 官民リスク分担の検討
- (3) 民間意向調査
- (4) 事業スキームの検討
- (5) 定量的評価(VFM検討)
- (6) 民活手法導入可能性に係る評価・考察等

# 令和元年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

## 市民プール建設に向けてのPFI事業の導入可能性調査

(調査対象箇所：田原市内)

【調査主体】田原市

### 調査の流れ／調査内容

#### 1.現状把握

各小中学校のプールの老朽化調査、維持のためのランニングコスト、将来にわたる修繕・改修費用の算定

#### 2.PFI事業導入可能性調査

- (1)温水プール活用型小中学校水泳授業実施に関する検討
- (2)市民プール利用に関する検討
- (3)市民プール整備運営に係る民活手法導入可能性に係る検討

### 事業化検討

老朽化の著しい市内の学校プールについて、屋内温水型の市民プールを建設し通年利用できる施設とし、水泳授業を集約化する。併せて、インストラクター補助を中心とした授業の形態に切り替え、より充実した授業内容となる体制を整える。

また、授業に使用しない時間帯、時期において市民プールとして一般開放し、市民の健康づくりの場としての利用を促進する。

事業化にあたっては、PFI方式を軸に検討し、事業者の意見を参考としながら、建設場所、施設規模、運営方法、建設費用、建設主体等について検討する。

### 今後の進め方

令和2年度	民活導入可能性調査実施
令和3年度～(未定)	市民プール建設位置、調査結果に基づく施設運営方法の決定
令和4年度～(未定)	市民プール建設、運営業者の選定
令和5年度～(未定)	運営開始(一部業務)
令和6年度～(未定)	目標達成(全業務の運用開始)

### 想定される課題

建設場所	行政区域が東西に長い本市において、市民プールと各小中学校との距離は大変重要な課題
施設規模	市民プールを市民が使いやすくする工夫。他の施設との複合化、ジム等設備設置
交通手段	路線バス、コミュニティバス、スクールバス(直営化)の利用の検討、建設場所にもかかわってくる
運営主体	運営者の募集(プール授業のインストラクター補助)